

第 2 回審議会での意見概要

※記号が飛んでいる箇所等については、「第 1 回審議会の意見概要」を参照

(例:「ア」「イ」の項目がなく「ウ」の項目から始まっている箇所については、「ア」「イ」の項目は第 1 回審議会の意見概要に記載)

1 10 年先さらにその先を見据え、考え、整理しておくべきこと

(過去の延長線上ではない環境変化への対応)

(1) 想像される変化

(2) 変化を踏まえた主体的なビジョンの必要性

① 鹿児島市民として主体的な努力をしていく方向性（ビジョン）を考える（都市像）

ウ 「都市像」の「人・まち・みどり～」について、「人とみどりとの関係」を見直し、協働をどのように行っていくのか、本気で取り組む覚悟、もっと言えば、このことを本気で議論していくのかということへの覚悟が必要

② これからは「選択」が重要

オ 10 年後、鹿児島市としてはこれを目指す、という徹底して取り組むものを 1 つ掲げることでベクトルがバラバラになるのを避けられるのではないかと思う

カ 「(過去の反省に立ち) こういうことは鹿児島市として絶対にしない事」と「必ずやりたい事」、この 2 つが中心となる (その他のことは「できればやります」という程度ではないのか)

(3) 長期的な視点の必要性

① 長期的視点に立った方向性

ア 毎年ベースでは出てこないものこそ、10 年の総合計画で掲げていく意味があるものであり、そういったものを峻別する必要がある

イ 「目標」については、環境で言えば、国際的には 2050 年（長期）、2020 年（短期）という区切りがある。それをどう捉えるか、2030 年、2040 年、2050 年を見据える中での 2020 年として捉え考えるのか

ウ 50 年後を見据えて、何が鹿児島にとって重要かということに気付き、それを目標として掲げて今から取り組むことによって変わってくるものである

エ フランスの街並みの美しさは、高さの制限や古い建物を大切にしている部分からきており、(長期的な視点からの取組となるであろうが) 景観や街並みというのは重要な要素である

2 多くの市民の理解、参画、協働につながる市民レベルでの分かりやすさ

(1) 市民レベルでの分かりやすさ

① 「詳しく」ではなく「分かりやすく」

ア 市民にまず知ってもらうためにはできるだけ詳しくというより、できるだけ分かりやすくということに視点を置くことが必要

② 分かりやすい総合計画の体系について

(自分たちの生活や職場、地域との関わりを感じさせるものに)

ア 「都市像—基本目標—戦略テーマ」という「つくり」自体が分かりにくい(「こういうことをしたらこういうまちが実現します」ということを市民が分かるように、「自分たちは 10 年後どのようなまちに住んでいるのだろう」ということがイメージできるようなものが必要)

- イ 「基本構想」に関してこれまで出された意見等が「基本計画」や「実施計画」にどのように反映されていくのかを踏まえながら議論する必要がある
- ウ 「都市像」は理念であるが、どういうまちをつくっていくかという一番大事なところをまず考えていくことが大切（「都市像」の核となる視点や基本目標との関連を含めて）
- エ 「都市像」は市民みんなのビジョンであり、その中の、住む人と来る人にとっての「豊かさ」を、環境や産業振興、あるいは福祉や教育など具体化したものが6つの「基本目標」であり、それを実現するために「基本計画」と「実施計画」があるものと認識している
- オ 策定過程としては、「ビジョン」から検討に入り、そのビジョンに示す範囲での具体の基本計画、実施計画、そして単年度の予算となるものである
- カ 審議会では基本計画を含め基本構想について議論するが、実施計画及び予算は行政で行っていくものとなる

③ 10年間の強調ポイントの明示

④ 「基本目標」のあり方、内容

- ア 6つの基本目標について、この中での優先順位はないのか（「信頼・協働政策」が、今回は基本目標の1つとなったという説明があったが、ここが今回のメインテーマとなるのか、ここの位置づけは再度検討したほうがよい）
- イ 6つの基本目標のうち「信頼・協働政策」は、並列で表現されているが、その他の基本目標の基盤となるものだと理解してよいか（市民と連携したまちづくりを進めるということをここで打ち出しているということによいか）
- ウ 「信頼・協働政策」は、市民が都市間競争の評価者であり同時にまちづくりの当事者でもあることを示し、そういう仕掛けをもっとつくっていくことが重要という意味から、もっと強調してもよいのではないか
- エ 都市像の「みんなで創る」を受け、「信頼・協働政策」が、それ以外の5つの基本目標（都市像の「豊かさ」）を実現するための方法論としてあるとすると、6つ並列でもよいが、それよりは共通基盤と考えたほうが分かりやすいのではないか
- オ 6つの基本目標は、①一定の経済的な豊かさを実現する（観光を中心に取り組むなど）、②環境問題に取り組む（世界的水準を目指す）、③福祉や教育の取組を進める、という3つに分けられるのではないか
- カ 子どもをどのように育んでいくかは、学校や親への支援など総合的に捉える必要があり、大きなキーワード（そういう意味から基本目標の中に「子ども」という文言を表出ししてもよいのではないか）
- キ 今まで当たり前と生きてきたことが本当にそうなのかというところから考えていくべき（例えば「教育」について、不登校児童が多い中では、必ずしも「学校教育」だけではないのではということなど）
- ク 人を育てる観点から、技術者を育成する専門教育を行う環境づくりも必要
- ケ 「にぎわい交流政策」に関し、鹿児島市の産業構造を踏まえ、どういう産業を伸ばし雇用の場をつくっていくのか（どのような現状で今後どうしていくのか）を示すべき
- コ 交通に関し、伊敷方面の市電廃止は、その当時の時代背景によるもので、今の時代でどうなのかということをもう一度考えてみてもよいのではないか

⑤ 戦略テーマ、戦略プロジェクトの体系図での位置づけを検討

- ウ 「つくり」の部分での分かりにくさの一つの要因となっていると思われる、「戦略テーマ」及び「戦略プロジェクト」の位置づけについて一定の整理をすべき

⑥ 目標指標を分かりやすく（行政評価を含めて）

ア イメージしやすい指標設定

- ・1つの項目（基本施策）に対して目標数値は複数あったほうが、トータルとして達成されたかどうか分かりやすく示せるのではないか
- ・これまでの10年における経年変化、同規模の都市との比較があるとイメージしやすいのではないか

イ 鹿児島らしい目標設定

- ・「教育・子育て」に関して、一般論の教育だけでなく、鹿児島ならではの教育も進めるということも含めて、市民の方々に分かってもらえるような目標を掲げていくべきではないか（国際社会の中でどうあるべきか、世界というものもバランスよく教えていくということを含めて）

ウ 全般

- ・「実施していることだけの評価」ではなく「実施していないことの評価」も行なうべき
- ・指標については、関連する市の個別計画で掲げた指標との整合を図るなど調整が必要

(2) 市民の参画・連携につながる仕組

① 市役所の対応セクション（担当部署）が分かるように

② 総合計画の推進体制の明示（あり方を含めて）

ウ（事後の評価が中心の行政評価とは別に、期中の評価となるような）市民が参画して、策定後の総合計画をウォッチしていく推進体制が必要（それが、6つ目の基本目標「信頼・協働政策」の一つの具体的な形となるものであろう）

3 アジアや日本の中の鹿児島市という視点

(1) 対外的に発信する方向性

① 国内外の都市間競争を見据えた、対外的に発信する都市

エ 「都市像」を考える際のポイントは、「住むまちとして鹿児島市をどうするか」と「外部から見て鹿児島にどのようなあってほしいか」の2つではないか

オ 「都市像」については、訪れた人が鹿児島市に感じるもの、そこに住む市民も感じるものではないか（スウェーデンの「高福祉と強い経済」、シンガポールの「環境と物流、多民族共生」などの「国家像」のイメージ）

② 特色ある都市のイメージや方向性

ア 「桜島がどこからでもきれいに見えるまちづくり」を進めれば、一步足を踏み入れた時に「鹿児島は自然を大切にしているまち」という市民の意志が感じられるのではないか

イ みどりを中心に据え、街中に癒される、老人たちも憩える空間、例えば、「みどりの中に街がある」「小鳥のさえずる街」のようなものを目指してもよいのではないか（県文化センターを無くし、中央公園を拡大して、市のセントラルパークとするなど）

ウ 錦江湾という素晴らしい資源を活かしていくことも重要（今は身近に感じられない）

エ 錦江湾や甲突川の水に直接触れる体験ができる場をつくるのが大切（このような経験が甲突川を守ろう、錦江湾を守ろうという声につながるとともに、鹿児島市民が何を大事にしようとしているのかが明らかに分かる）

オ 前例が無いから駄目ではなく、前例となるようなもの、鹿児島市の特色となるものを掲げるべき（例えば動物と住める市営住宅、大家族で暮らせる市営住宅など）

カ 「鹿児島らしさ」とは何かをイメージして、一つ一つの表現に「鹿児島らしさ」をもっと出

していてもよいのではないか

4 第四次総合計画の検証

(1) 現計画の検証

① 現計画の検証を踏まえた、新たな計画の策定

イ 市民生活指標については、第四次総合計画でまだ足りない部分等の評価も必要